

市立宿毛歴史館

この小さな博物館は、縄文時代（紀元前 10,000 年–紀元前 300 年）における初期の集落から、江戸時代（1603–1867 年）における交易の中心地および城下町としてのこの地域の発展まで、宿毛の歴史を紹介しています。宿毛は小さな町ですが、明治時代（1868-1912 年）における日本の近代化と経済発展について役割を果たし、日本の自由民権運動における重要人物である林有造（1842-1921 年）など、主要な政治家や企業家を輩出しました。

江戸時代、宿毛は愛媛県と高知県をつなぐ重要な地でした。また、太平洋に面する西端の港でもありました。港には、大阪と九州の間で商品を運ぶ商船が寄港しました。この町は、九州の南端に近い鹿児島から砂糖を受け取り、着物やその他の貴重な布を虫から守るための樟脳を送り出していました。

博物館の真ん中には江戸時代の町の大きな縮尺模型があり、訪れる人は宿毛のかつての町並みを容易に思い浮かべることができます。中国の絹製品や武具や刀などの展示品の説明が、タッチスクリーン上に英語で表示されています。

この博物館は宿毛の伝統的な武家屋敷地区に位置し、林邸から道路を渡ったところにあります。林邸は、現代的なカフェのある歴史的邸宅で、この地域の見どころに関する情報も備えています。